

分科会概要

分科会	テーマと内容	講師
第1分科会 担当：紋別 20名	<u>図書の扱いを学ぼう</u> 学校にはさまざまな本がありますが、いろいろな人が借りていく中でどうしても破損してしまうことがあります。そこで本をどのように取り扱い、保護していくかを実践的に学びます。まずは文庫本や新書にブックカバーを貼る作業を体験してもらいます。さらに破損した本を修理して再び貸し出しが可能な状態にするために必要な道具や技術について学びます。	北海道立図書館 企画支援課 総務企画部
第2分科会 担当：北見柏陽 40名	<u>図書館づくり大相談会 ～あなたのお悩み、みんなで考えます～</u> イベントに人が集まらない…館報のネタが尽きてきた…もっと図書館の利用者を増やしたい…そんな悩みを抱えているのはきっと、あなたの図書館だけではありません。この分科会では、それぞれの課題や工夫を持ち寄り、より良い図書館づくりについて語り合います！高校生同士だからこそできる対話から、明日の活動に生かせるヒントを一緒に見つけませんか？	運営・ファシリテーター 札幌東高校図書局 帯広三条高校図書局
第3分科会 担当：北見北斗 50名	<u>哲学対話ワークショップ「図書館はどんな場所でありうるのか」</u> 図書館は広く市民に開かれた公共的な場所でありながら、そこで最もプライベートなこと(読書や勉強)が実施される場所です。図書館にはどんな役割や可能性があるのでしょうか。今回は哲学対話の方法を使って、図書館という場所の意味を考えましょう。	豊橋技術科学大学 准教授 岩内章太郎 氏
第4分科会 担当：北見柏陽 30名	<u>伝わる文章の書き方</u> 好きな人に思いを伝えるラブレターや大学入試の小論文、就職活動のエントリーシート——。皆さんの大切な節目で、文章を書く機会は多々あります。ですが、せっかく思いを込めて書いても、読み手に伝わらなければもったいないですね。新聞記事には、伝えたいことを端的に、わかりやすく書くコツが詰まっています。実際の記事をヒントに「伝わる文章の書き方」を学びましょう。	(株)北海道新聞社 記者 宮脇 ふく子 氏
第5分科会 担当：北見柏陽 20名	<u>POP作りワークショップ</u> 本の内容がひと目でわかり、思わず手にとってしまうような魅力的なPOPを作成しましょう。	北見市立中央図書館 司書 川畑 恵美 氏
第6分科会 担当：網走桂陽 20名	<u>知的書評合戦「ビブリオバトル」を体験しよう！</u> お気に入りの一冊を5分で紹介し合う、だれでも参加できる本のプレゼンバトルです。発表を聞いた仲間が「一番読みたくなった本」に投票し、チャンプ本が決まります。伝え方を工夫すればするほど面白くなるのがこの競技の魅力。読んでほしい気持ちと本への愛を持ち寄り、「本がもっと好きになる」時間をいっしょに楽しみましょう。	北海道網走桂陽高等学校 教諭 川口 修平 氏
第7分科会 担当：遠軽 30名	<u>みんなで作る 風にゆれる図書館アート</u> 折り紙やストローを使って、モビールを制作します。色や形を自由に組み合わせながら、楽しく気軽に風に揺れる作品を仕上げ、図書室を彩る飾りを作りましょう。	北海道遠軽高等学校 教諭 望月 郁子 氏
第8分科会 担当：北見工業 50名	<u>墨で書く オリジナルブックカバー</u> 自分の好きな本1～2冊のタイトルを、墨と筆、半紙を使ってオリジナル書体で書き、ブックカバーあるいは帯を作成しましょう。	北海道北見工業高等学校 教諭 佐々木 裕美 氏
第9分科会 担当：網走桂陽 15名	<u>自校の図書室イメージキャラクターを作ってみよう！</u> 図書だよりやポスターなどで活躍する“イメージキャラクター”は、図書館活動をぐっと魅力的にしてくれます。しかし、いざ作ろうと思うとなかなか形にできないことも。 この分科会では、本大会キャラクター「にのみやくまじろう」を描いた講師から、キャラクター発想のコツやデザインの工夫を学び、実際に自校のオリジナルキャラづくりに挑戦します。創造の楽しさを味わいながら取り組める内容で、完成したキャラクターはそのまま学校に持ち帰って広報物などに活用できます。絵が得意な人も苦手な人も、気軽に参加できる楽しいワークショップです。	北見市立小泉小学校 教諭 川口 由佳子 氏 北海道網走桂陽高等学校 教諭 中山 靖子 氏
第10分科会 担当：遠軽 40名	<u>「写真絵本」を作ってみよう</u> 講師が用意する写真プリントと画用紙を使って簡易的な「写真絵本」を制作します。写真に言葉を添えることで、そこに新しい物語が生まれます。ページを構成し、装丁を施すことで、一冊の「写真絵本」が完成。自分だけの物語を形にしてみませんか。	北海道遠軽高等学校 教諭 奥山 輝久 氏

<p>第1 1分科会 担当：北見工業 20名</p>	<p><u>「要約筆記」に挑戦しよう</u> 耳の聞こえない人、聞こえにくい人への文字通訳を要約筆記と言います。この分科会では、実際に要約筆記の現場で活躍するオホーツク要約筆記サークルのお話を交えながら、障がいのある人との暮らしを身近に感じてもらいます。要約筆記の技術を身につけ、一緒に皆で支え合える社会について考えてみませんか。</p>	<p>北海道室蘭東翔高等学校 教諭 中西 裕美 氏 オホーツク要約筆記サークル</p>
<p>第1 2分科会 担当：紋別 25名</p>	<p><u>篆刻 自分だけのオリジナルの印を作ろう</u> 自分の名前の漢字一文字を石に刻して印を作ります。(名前が平仮名や片仮名の人は要相談)文字は朱文(文字が赤くうつる)です。あらかじめ石に下書きされているものをこちらで用意し、生徒の皆さんにはそれを刻してもらおう形になります。</p>	<p>北海道教育大学旭川校 准教授 西川 竜矢 氏</p>
<p>第1 3分科会 担当：北見北斗 20名</p>	<p><u>北見薄荷ツアー</u> 明治から昭和にかけて全盛期を迎え、当時は世界シェアの70%以上を北見地方で生産していたこともある天然ハッカ。この分科会では、「ハッカ油」で有名な(株)北見ハッカ通商の社屋に隣接する施設「KITAMINT FACTORY」で北見のハッカ産業の歴史を学ぶとともに、ハッカ油の製造を見学します。</p>	<p>(株)北見ハッカ通商 社長 永田 裕一 氏</p>